

鳥取市公設地方卸売市場
事業協力者活動

最終報告書

① 事業協力名

鳥取市公設地方卸売市場再整備事業 事業促進のための事業協力

② 事業協力内容

鳥取市公設地方卸売市場の老朽化に伴い、建物の耐震化あるいは建て替えを行う必要があり、鳥取市が掲げる「鳥取市公設地方卸売市場経営戦略」に沿って利用者目線の利便性、快適な環境、防災、コスト削減を踏まえ協力事業を推進してきました。

具体的な活動内容の柱として、鳥取市、協同組合鳥取総合食品卸売市場（以下「市場組合」という。）と事業協力者の3者による関係者協議会を開催し、具体的な施設内容について協議を実施してきました。

本報告は鳥取市と事業協力者5社との間で締結された基本協定書にも基づき第2条（事業協力内容）4項目について報告します。

- (1) 施設建築物（設備を含む）の設計に関する技術的な提案
- (2) 現市場機能を運営しながら本事業を進める技術的な提案
- (3) 余剰地等の活用方法及び賑わい創出の提案
- (4) その他鳥取市及び市場組合が必要とする事項の提案

③ 活動実績

活動期間 2021年7月2日～2022年2月28日

関係者協議会（web含）18回

他施設視察 1回

2022年2月

事業協力者

（代表企業）大和リース株式会社 山陰営業所
株式会社昭和設計
株式会社桂設計事務所
山陰リネンサプライ株式会社
八幡コーポレーション株式会社

I 施設建築物(設備を含む)の設計に関する技術的提案

(1) 適正規模の提案

各施設の規模

現在の使用状況及び農林水産省通知の卸売市場の施設規模の算定基準から以下のとおり提案します…

	現況面積	提案面積 (内冷蔵施設)
A青果卸売	2,580㎡	1,625㎡ (474㎡)
B青果卸売	2,246㎡	2,418㎡ (720㎡)
花き卸売	400㎡	356㎡ (22㎡)
水産物卸売・仲卸	1,560㎡	1,100㎡ (251㎡)
青果仲卸		689㎡ (217㎡)
青果関連事業		343㎡
水産関連事業		396㎡
仲卸買荷保管積込所		要検討
管理事務所等		710㎡

※面積は壁中心線で囲われた部分で記載しています。

※提案面積は実際に売場や作業等を実施する面積で建物の庇等については含まれていません。

※提案面積には事務等のスペースが含まれており、算定面積と単純な比較は出来ません。

(2) エリア別施設配置と場内車両動線計画

・敷地へのアクセスの考え方

鳥取市場においては現況では正門出入口以外に3箇所から出入りが可能となっています。安全性の観点からは出入口を一カ所にする事が望ましいですが、市場関係事業者の意見、市場内外の連携及び開かれた市場を目指す為には正門出入口以外を閉鎖するのは現実的ではないと提言します。又、大型車の出入りについては滞留スペースも十分な正面出入口に誘導する必要があります。

・明快な施設配置と場内車両動線計画

鳥取市場は3つの部門が同居する施設であり、青果部・花き部・水産部についてはそれぞれ必要となる空間・衛生管理のレベルが異なり、一定程度の分割が必要となり、市場エリアには十分なスペースの確保が必要です。又、一般車両、搬入車両、搬出車両など場内の車両移動がスムーズに移動できる施設配置計画が必要です。

・駐車場配置と付帯施設配置

現在は敷地の中央(卸売市場棟と関連事業者棟の間)に駐車場が位置しており、関連事業者と卸売市場が離れているが、仲卸制度も導入され、卸売、仲卸、買受などの各機能を関係させる為にも駐車場の位置を整理する必要があると考えます。又、搬出入車両と従業員などの一般車両が混在しているので、一般駐車場と搬出入車両動線を明確に分ける配置とする必要があります。

・効率的な施設内の物流動線

入荷・荷分け・陳列(一時保管)・取引・出荷の各工程毎に衛生管理し、HACCP認証レベルでチェック出来る物流動線と並行して、部分閉鎖型市場によるコールドチェーンを確立により、商品の温度別管理を可能とする必要があります。